

Soprano 松倉とし子 & Bariton 松倉望

美しい秋の日に…

～麗しき歌の花束～



2025

11.22 sat

文翔館議場ホール

14:30 開演 (14:00 開場)

チケット | 4,000円 (税込)

出演 ソプラノ 松倉とし子

バリトン 松倉望

ピアノ 小野弘子

ピアノ 伊藤隆文



Program

第1部

松倉望の世界

- * 映画「ニューシネマパラダイス」より
愛のテーマ
- * オペラ「セヴィリアの理髪師」より
私は街の何でも屋 ほか

第2部

松倉とし子

- * 金子みすゞ詩による童謡歌謡集
「ほしとたんぼぼ」より
- * 母から子へ贈るうた ほか

第3部

松倉とし子&松倉望

～至上のハーモニー デュエットの数々～

- * 故郷の廃家
- * まっかな秋
- * さらばジャマイカ ほか

主催

松倉とし子後援会

お問い合わせ

チケット取扱い

とし子の会

「とし子の会」事務局 小関京子 090-4040-4864
「十一屋」本店 023-642-4281

十一屋本店・十一屋桜田アベニュー店

Soprano 松倉とし子 & Bariton 松倉望 美しい秋の日に… ～麗しき歌の花束～

出演者プロフィール



～待ちに待ったこの日!!～

「とし子の会」会員が、ずっと夢見ていたコンサートがよいよ実現します。

望さんが11歳の時、美しいボーイソプラノを見初められ、キングレコードで初のCD「母と子の思い出 part1」がリリースされました。とし子さんの声とそっくりの透명한声の望さん。ふたりのデュエットで歌われた「ビリーブ」は、特に聴く人の心に響きました。その後、15歳の時に2枚目のCD「花は咲く」、そして20歳の時には、ポニージャックスが「のんちゃんのお祝い」に、レコーディングに参加してくれて、3枚目のCD「母から子へ贈るうた」が誕生しました。

今や、立派なバリトンとなった望さん。今日は、「母と子」というより「ソプラノとバリトン」のコンサートです。

第1部は、望さんのオペラアリアとミュージカルソングをたっぷりお聴きいただき、第2部では、とし子さんのライフワーク、作曲家中田喜直さんが、とし子さんの声に合わせて作られた「金子みすゞ童謡歌曲集」を中心としたプログラムをしつとりお届けします。そして第3部では、とし子さんと望さんの美しいハーモニーのデュエットでお楽しみいただく夢のような流れとなります。

美しい秋の日、どうぞ心躍らせてお出かけ下さい。心よりお待ちしております。

「とし子の会」事務局

松倉とし子 Soprano

オペラ『フィガロの結婚』(スザンナ役)でデビュー後、数々のオペラの主役を演じる。作曲家中田喜直に「日本歌曲を歌うのに大切なものを全て具える」と高く評価され、氏の歌曲、抒情歌、童謡の多くをレパートリーとして、2000年5月に同氏が亡くなる直前まで全国でコンサート活動を共にしたほか、多数のCDを制作。音楽誌上で高評価を受けながら、サントリーホール、カザルスホールなど多数のホールでリサイタルを継続。年間80回に及ぶ演奏活動をこなす。

中田喜直が松倉とし子の声に合わせて作曲した『金子みすゞ詩による童謡歌曲集』は初演から大きな感動を呼び、同氏とのコンサートの中心プログラムとなり全国のホールから招かれ演奏を重ねた。東日本大震災以降は「こだまでしょうか」を求める声がさらに増え続けている。2001年6月にはウィーン楽友協会ホールでの中田喜直作品コンサートに出演。世界中に「金子みすゞの心」を広げながら、NHK-TV『金子みすゞに捧ぐ・松倉とし子音楽ファンタジー』『みんなの童謡』、NHK-FMへの出演で全国のファンに優しい歌声を届けている。

“中田喜直・松倉とし子・ポニージャックス3つの心のハーモニー”コンサートをスタートさせてから、ポニージャックスとのステージは数多く、レパートリーは童謡からポップスまで幅広い。故郷やまがたでは、楽しい話をさみながらのディナーショーや、スイートコンサート、自在なピアノアレンジによる歌声茶論など、多種多様なステージを重ねている。また、中田喜直氏とスタートさせた「童謡の日コンサート」は2024年に30回をむかえ、山形市民会館で30回記念スペシャルコンサートを開催。2025年7月に31回コンサートを開催。

『第29回日本童謡特別賞』『NHK東北ふるさと賞』『山形県芸術文化協会賞』『山形市政文化功労賞』など受賞多数。2015年1月から毎週日曜日朝、YBCラジオ『松倉とし子 うたの花束』がスタート。11年目をむかえ、多くのリスナーに愛され、好評放送中。

松倉望 Bariton

山形市出身。山形県立山形東高等学校卒業。山形大学人文学部法経政策学科法律コースを経て、同大学大学院地域教育文化研究科文化創造専攻音楽芸術コース修了。



松倉とし子(ソプラノ)



松倉望(バリトン)

3歳からコンサートステージに立ち、童謡と日本歌曲を中心に演奏を重ねる。11歳で「母と子の思い出」(キングレコード)を制作。ボーイソプラノからバリトンへ変声し、山形テルサホール開催の「童謡の日コンサート」に出演。山形交響楽団の演奏で、松倉とし子、ポニージャックスと共演。現在、山形県民共済主催による、山形県内の保育園・幼稚園の子供たちへのコンサートに数多く出演し、「山形に根付いた童謡を愛する心」を文化の一つとして県内に広める活動に参加している。

近年はクラシックを中心に研鑽を重ねており、これまでに「ドン・ジョヴァンニ」表題訳、「コジ・ファン・トゥッテ」グリエルモ、「アマルと夜の訪問者」メルキオール王など、山形県内外でオペラ公演等に出演しつつ、自らも演奏会を多数企画・出演している。声楽を鈴木集、藤野祐一、深瀬廉の各氏に師事。木村善明、佐藤美枝子、小森輝彦の各氏に指導を受ける。

小野弘子 Piano

山形県立山形北高等学校音楽科、山形大学教育学部特設音楽科を卒業。ピアノを神原順子、小園井弘子、小野崎通男、中川和義、須田真美子の各氏に師事。室内楽の演奏会を定期的に開催し、伴奏の分野でも幅広い活動を続けながら、後進の指導にあたっている。

米沢市芸術文化協会より文化奨励賞を受賞。自宅にてピアノ教室主宰。

現在、米沢コール・華、女声合唱ゆずり葉、オカリナ・アモレーの指導者、高畠混声合唱団ピアニスト。アンサンブル belle 団員

伊藤隆文 Piano

2002年、山形県山形市生まれ。4歳よりピアノを始める。山形県立山形南高等学校、山形大学地域教育文化学部文化創生コースを経て、現在、山形大学大学院社会文化創造研究科1年次在学中。

第25回東北青少年音楽コンクール優秀賞、第17回山形県ジュニアピアノコンクール上級A部門最優秀賞、第20回同コンクール上級B部門最優秀賞。これまでにピアノを菅野真由美、葛西朋子、小林郁、三輪郁の各氏に師事。



小野弘子(ピアノ)



伊藤隆文(ピアノ)